

この資料は、BAT 英国本社が 2026 年 7 月 30 日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約したもので、資料の内容および解釈については英語が優先されます。また、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。英語版は[こちら](#)をご参照ください。

プレスリリース 2026 年 7 月 30 日

British American Tobacco p.l.c.

2026 年 6 月 30 日 上半期決算報告書

上期業績は想定通りに推移、通期業績見通しに自信



概要

- グループ全体の売上高に占めるスモークレス製品の割合は 2025 年度比で 1.6 ポイント上昇の 19.8%
- 売上高は、米国事業の成長（マルチカテゴリー・ポートフォリオの力強い成長に牽引されて 8.5%増加）と AME（米国を除く南北アメリカおよび欧州）地域の底堅い業績（0.9%増加）が APMEA（アジア太平洋・中東・アフリカ）地域の回復の遅れ（6.3%減少）により部分的に相殺された結果、1.4%増加、同一為替レートベースでは 2.9%増加
- 新カテゴリー製品の売上高は 18.0%²増加、新カテゴリー製品の利益率貢献度は 3.3 ポイント上昇して 13.8%²
- 燃烧式たばこ製品の売上高は価格設定と製品構成（米国の物品税還付の影響を含む）が貢献して改善し、2.1%²増加
- 公表ベースの営業利益は、カナダのたばこ訴訟の和解金引当金に関連した前年の利益計上が部分的に影響して 15.8%減少（公表ベースの営業利益率は 7.1 ポイント低下して 34.9%）
- 調整後営業利益^{1,2,3}は 3.5%増加、調整後営業利益率^{1,2,3}は 0.3 ポイント上昇して 43.7%
- 公表ベースの希薄化 1 株当たり利益（EPS）は 28.6%減の 145.3 ペンス、調整後希薄化 EPS^{1,2,3}は 7.9%増加
- 2026 年度の調整後希薄化 EPS^{1,2,3}成長率は予想レンジである 5~8%の中間近辺となる見込み
- 2026 年度における自社株買い総額は計画通り 13 億ポンドに達する見込み

タデウ・マロツコ最高経営責任者のコメント

「BAT の 2026 年上半期の業績は予想に沿った水準となりました。事業変革の進展に伴い成長が加速しており、2026 年通期の業績見通しの達成に向けて着実に進捗していると確信しています。

新カテゴリー製品の売上高成長率は、引き続きモダン・オーラル製品（65.9%²増加）が極めて好調だったこと、および米国のペイプ製品の売上高が 2 桁成長に回復したことに牽引されて、18.0%²に加速しています。こうした製品構成の改善に加えて、質の高い成長を重視する継続的な取り組み、さらに加熱式製品とペイプ製品における規律あるリソース配分も貢献して、新カテゴリー製品の売上高貢献度は 54.7%上昇しました。

売上高ベースで最大の新カテゴリー製品であるモダン・オーラル製品では世界的な市場リーダーとしての地位を一段と強化しており、主要市場⁴における数量ベースの市場シェアは 2025 年度比で 8.4 ポイント上昇して 39.2%に達しています。売上高は、米国で VELO Plus が引き続き極めて好調であること、および AME 地域と APMEA 地域で 2 桁成長²が続いていることが貢献して、65.9%²増加しました。

燃烧式たばこ製品の収益も好調で、米国と AME 地域の成長により APMEA 地域の回復の遅れによる影響が相殺された結果、売上高は 2.1%²増加しました。世界的な数量ベースのシェアの維持を重視しつつ、引き続き燃烧式たばこ製品による収益を事業変革のための投資に充てていく方針です。2026 年上半期には、競争の高まりに対応して米国を含む主要市場への投資を積極的に拡大しており、米国では燃烧式たばこ製品の数量ベースのシェアが安定化し始めています。

米国では、FDA（米国食品医薬品局）がペイプ製品とモダン・オーラル製品の執行優先事項に関するガイダンスを最近公表しており、さらにその他の連邦および州政府の規制面での動きも踏まえると、レイノルズの優れた執行力と広範にわたる販売網を活用した当社のマルチカテゴリー戦略に基づくニコチン製品ポートフォリオが有利に作用することが期待されます。2026 年下半期には、Velo Max の全米での展開を計画しているほか、成人向けのフレーバー付き Vuse の一部を慎重に展開していく予定です。

2026 年通期の新カテゴリー製品の売上高成長率は、世界市場におけるモダン・オーラル製品の持続的な成長加速に加えて、革新的な製品の展開が奏功していることにより前年下半期の米国事業の業績が高水準に達したことによる比較上の影響を相殺し、2 桁台半ばに達する見通しです。

高水準のキャッシュリターンによる株主還元を行う一方で、レバレッジは期末の目標水準である 2.0~2.5 倍に向けて着実に低下しています。当社は、持続可能な株主価値の創出に引き続き注力していく所存です」

1. 調整項目は、規模、性質、発生状況から判断して当社が特異であると考えた特定の項目を指す。詳細については英語版決算報告書の 25~26 頁を参照。
2. 同一為替レート（CC）ベースの数値。
3. カナダ事業調整後の数値。カナダ事業における新カテゴリー製品以外のあらゆる収益源から生じた税引後純利益の割合（2026 年は 85%、2025 年は 100%）に基づいて調整されており、詳細については英語版決算報告書の 47~48 頁を参照。
4. 主要市場のリストは英語版決算報告書の 46 頁を参照。

業績概要

決算のハイライト

2026 年上半期	IFRS ベース		非 GAAP ベース			
	公表値		調整後 ³		カナダ事業調整後 ⁵	
	実勢 為替レート	前年比 実勢為替レート	実勢 為替レート	前年比 同一為替レート	実勢為替 レート	前年比 同一為替レート
紙巻たばこおよび加熱式たばこの数量ベースのシェア ¹		-0.3 ポイント				
紙巻たばこおよび加熱式たばこの金額ベースのシェア ¹		-0.4 ポイント				
スモークレス製品の利用者 ²	3,500 万人	+90 万人				
売上収益	122.35 億ポンド	+1.4%	122.35 億ポンド	+2.9%	122.35 億ポンド	+2.9%
新カテゴリー製品の売上高	19.28 億ポンド	+16.8%	19.28 億ポンド	+18.0%	19.28 億ポンド	+18.0%
グループ売上高に占めるスモークレス製品の割合 ⁴	19.8%	+1.6 ポイント				
営業利益	42.66 億ポンド	-15.8%	54.26 億ポンド	+2.5%	53.19 億ポンド	+3.5%
調整後粗利益成長率			+1.8%	+3.2%	+2.5%	+3.8%
新カテゴリー製品の売上高貢献度			2.57 億ポンド	+54.7%	2.57 億ポンド	+54.7%
新カテゴリー製品の利益率貢献度			13.3%	+33 ポイント	13.3%	+33 ポイント
営業利益率	34.9%	-7.1 ポイント	44.4%	-0.2 ポイント	43.5%	+0.3 ポイント
希薄化 1 株当たり利益 (EPS)	145.3 ペンス	-28.6%	167.7 ペンス	+5.9%	164.0 ペンス	+7.9%
営業活動による正味キャッシュフロー	34.02 億ポンド	+47.3%				
配当支払前フリー・キャッシュフロー			22.85 億ポンド	+85.2%		
営業活動による調整後キャッシュフロー			21.02 億ポンド	+45.4%		
キャッシュ・コンバージョン	79.7%	+34.1 ポイント	79.7%	+5.6 ポイント		
リース債務を含む借入金	350.63 億ポンド	-0.4%				
調整後純負債			319.69 億ポンド	+6.1%		

調整項目および同一為替レート等の非 GAAP ベースは、英語版決算報告書の 47 頁以降に比較可能な IFRS（国際会計基準）の定義を提示してありますのでご参照ください。

注釈：

- 各カテゴリーの業績の進展をよりの確に反映するために、2026 年 1 月からは金額ベースおよび数量ベースのシェアを紙巻きたばこと加熱式製品の総計ではなく、それぞれ別々に集計する。
- 社内推定値。
- 調整項目の詳細については英語版決算報告書の 25 頁を参照。
- グループ売上高に占めるスモークレス製品の割合の変化は、2025 年通期との比較による。
- カナダ事業調整後の数値。カナダ事業における新カテゴリー製品以外のあらゆる収益源から生じた税引後純利益の割合（2026 年は 85%、2025 年は 100%）に基づいて調整されており、詳細については英語版決算報告書の 47～48 頁を参照。売上高は調整していない。

2026 年通期業績予想の達成を確信

- 世界のたばこ業界の販売数量は約 3% 減少する見通し
- 業績は中期的な予想レンジの下限付近となる見込み
 - 売上高成長率¹は 3～5%、新カテゴリー製品の売上高成長率¹は 2 桁台半ばとなる見込み
 - 調整後営業利益成長率^{1,2}は 4～6 % となる見込み – 成長は下半期に偏る見通し
 - 取引上の為替変動によるマイナス影響は約 1% となる見込み
- 為替換算差損による調整後希薄化 EPS 成長率²の圧迫は約 2～3% と予想
- 正味金融費用^{1,2}は約 16.5 億ポンド（従来予想は 17.5 億ポンド）となる見込み（金利変動が影響）
- 調整後希薄化 EPS 成長率^{1,2}は予想レンジである 5～8% の中間近辺となる見込み
- 2026 年の総設備投資額はおよそ 7 億 5,000 万ポンドとなる見通し
- 営業活動におけるキャッシュ・コンバージョンは 95% を超える見込み
- レバレッジは、2026 年末までに調整後純負債/調整後 EBITDA 倍率²の予想水準である 2.0～2.5 倍以内に低下する見込み
- 英ポンドベースでの増配を継続し、13 億ポンドの自社株買いを行う方針

- 同一為替レートベース
- カナダ事業調整後の数値。カナダ事業における新カテゴリー製品以外のあらゆる収益源から生じた税引後純利益の割合（2026 年は 85%、2025 年は 100%）に基づいて調整されており、詳細については英語版決算報告書の 49～50 頁を参照